



●えち鉄福井駅新幹線高架上仮設駅整備中
撮影／清水

来年も楽しくやりましょう！
合言葉は もちろん

ホ・ジ・ロ・バ



●えち鉄田原町駅／仮設ホーム／撮影 清水

☆☆活動報告☆☆

11月19日 11月例会・理事会
29日

人と環境にやさしい交通をめざす
全国大会 in 宇都宮

29日 終着駅サミット in 氷見

☆☆今後の予定☆☆

12月17日(水) 12月例会・理事会
1月21日(水) 1月例会・理事会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

東京都市計画の遺産 - 防災・復興・オリンピック
越澤明 著 ちくま新書 980円+税

現状の都市計画をどうすべきかといった本は多いが、過去の資料を紐解いて、現在の都市の形がなぜそうなっているのか、といった本は少ない。この本は東京の都市計画道路の整備状況などを、戦災・震災復興の一部実施の結果といった分析や、民間人ががんばって一部分だけ高級住宅地ができた地区など「なるほど」の宝庫である。

今、古い地図がインターネットで公開されているが、それを見ながらこの本を読むのも一興ではないだろうか。

東海市会員 美濃部 雄人 Minobe Yujin

「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会 in 宇都宮」参加報告

去る 11 月 29 日、宇都宮市中心部の宇都宮共和大学において、人と環境にやさしい交通をめざす全国大会 in 宇都宮が開催されました。この大会は第 7 回。第 1 回が宇都宮で開催されており、再び、宇都宮に帰ってきたこととなります。その間、LRT や BRT の導入をめざす京都、横浜、岡山、新潟などの各都市が、その推進を図るなかで開催を受け持ってきたのですが、宇都宮は議論が極めて具体的に終わったこの局面で、再度 LRT 推進の強い意思を示すべく大会を誘致したようです。

宇都宮は 20 年来、LRT 導入の議論を行ってきました。宇都宮は過度のクルマ依存社会ですが、市東部から隣接する芳賀町にかけて立地する複数の工業団地に通勤する数万人の従業員の大部分がクルマ通勤であり、通勤時間帯には道路が激しい渋滞を起こしています。そこで宇都宮駅からこのエリアに至る LRT の導入が構想されたのですが、LRT 導入に対する根強い反対（さらなる道路整備とバスによる輸送を推す）もあり、議論が続いてきたものです。現在、LRT 導入に対する市民の理解が広がってきているのですが、工業団地の工場従業員に対するアンケートを行った結果、クルマ利用から LRT 利用への転換率が当初の想定以上であることがわかり、車両の大型化・長編成化、快速電車運行のための追い越し施設の設置等で整備費用が大幅に増額となり、市民の理解を得るべく、丁寧な説明が重ねられている状態です。LRT は公共交通ネットワーク全体のなかで市の東西軸として位置付けられています。大会後には LRT のさらなる西方向への延伸（大谷スマート IC 付近：新設）構想にも言及がなされました。東武宇都宮線等のトラムトレイン導入に関する議論なども行われているようです。

大会では、午前中、6 つの分科会に分かれ、約 60 の団体が発表を行いました。私は鉄道の分科会の 2 番目の発表者として、「福井鉄道・えちぜん鉄道三国芦原線直通 LRT 化計画のその後」というテーマで発表を行いました。発表時間は 9 分ですので駆け足の発表なのですが、全国的にはノーマークの福井が徐々に LRT としての要件をそろえ、いつの間にか出来上がるであろう、既存のストックを活かしたトラムトレイン方式による LRT の構想を伝えることができたのではないかと思います。私はずっと鉄道の分科会に居ましたので、そこでのことしかわかりませんが、これまで交流を持ち、経緯を追ってきた、宇都宮の LRT 計画、神戸電鉄粟生線の問題等に関する興味深い、濃い発表に触れることができました。

午後は宇都宮浄土人関西大学教授によるいつものながらの切れ味鋭い基調講演や、宇都宮市荒川副市長（福井県庁に勤務されていたこともあります。）の興味深い報告を聞くことができました。

そして近くのホテルの会場で行われた懇親会。これは実は私たちにとっては非常に重要で、毎度のことなのですがこの懇親会に参加することで人脈が格段に広がっていくのです。今回もいろいろな方と出会い、また、これまでもお付き合いしてきた各地の方々とお付き合いを深めて参りました。

実は、大会前日、宇都宮さんのご厚意で大会運営の母体となっている団体の皆さん、大会スタッフの一部の方との飲み会にも参加してきました。これも非常に貴重な時間でした。

大会翌日は、皆さんと JR 烏山線のバッテリーハイブリッドトレイン ACCUM への試乗に行ってきました。これも非常に貴重な体験だったと思います。



宇都宮さんの基調講演の様子。福井の事例を紹介。

新潟出張顛末記 冬の移動を考える

林 博

冬の新潟へ出張しました。通常時でも、北陸三県と新潟の公共交通での連絡は決して便利とは言えず、積雪や強風の吹き荒れる冬の出張はさらに大変だ。新潟に本部のある会の幹事会が12月2,3日に開催され、ちょっとした小旅行をしてしまいました（また、15,16日の出張は中止しました）。

荒天は前の日から予想されており、「北越」（信越本線）が止りそうだと予想されたため、「はくたか」を利用して越後湯沢經由上越新幹線で行かざるを得ないなと思っていました（時間は同じで料金は1.3倍）。ところが、小松市周辺での強風で、福井県内はあわら温泉駅折り返し、石川県内は加賀笠間駅折り返し、金沢までもいけないことになりました。やむを得ず欠席する連絡をしましたが、どうしても出席しろという命令が下り、東京回りで行くことにしました。でも、「しらさぎ」も動かないため、福井駅ですでに用意してあった乗継案内（初めてのサービス）をもらって鈍行で米原まで行くことに。乗換の敦賀駅では、新しくできた駅舎で展示品を作成した高校生の記念撮影に遭遇したり、初めて降りた近江塩津駅ではまちを少し歩いてみたり、通常1時間の行程を2時間半かけてのんびり旅行することに。

| | | |
|--|--|---|
|  |  |  |
| <p>福井駅発行の乗り継ぎ案内</p> | <p>敦賀駅展示とその作者</p> | <p>近江塩津駅とバス停</p> |

東京駅では6分で、必死で上越新幹線に乗換え。トンネルを抜けるとそこは雪国だった。所要時間は7時間、料金は2倍、おまけにタクシーまで使って、1時間遅れで会議の途中に参加できました。

翌日は雪もやんでのんびり帰れるはずでした。ところが、帰りの便にもおまけがありました。「北越」で順調に向かっていたのですが、柏崎駅で強風のために停車しますとの車内放送、ホームに出てみたが少し木が揺れていたんで、しばらく動かないぞと思ったら、案の定「バスのご用意ができましたので乗り換え下さい」との放送が入りみんなで移動。直江津駅では、「はくたか」に乗り換えとおもったら、その後からさっき降りた「北越」が来るという。意地で「はくたか」に乗りました。2時間遅れで帰福。

| | | |
|---|---|---|
|  |  |  |
| <p>柏崎駅でしばし停車</p> | <p>柏崎駅ホームのモニュメント</p> | <p>代行バスに乗り換え</p> |

石川や富山の参加者は車でトラブルなく参加。長距離で最も力を発揮すべき公共交通がこんな不甲斐なくていいのか、ここに重点的に公共投資をすべき、国交省北陸地整の会議だったので提言しました。

3月からは北陸新幹線開通だけど、雪の時は高崎回りになるの？ 信越本線の風の対策頼みます！！

照ちゃんの気になる風景 Part 40



作／漆寄 耕次



写真は今年収穫した大豆を天日干しているところです。煮豆は好物のひとつで、コップ1杯の大豆を一晩水につけ昆布と生姜を入れ煮るだけで2～3日は食べられます。昆布はとろみをつけ、生姜は味に深みができます。最近は1週間に一度は煮豆を作っていますがまったく飽きがきません。



豆といえば林家の料理にかかせないのが打豆です。煮物大好きの私にとっては必須材料のひとつで、この「たかはしの打豆」には、たいへんお世話になってます。自分でも打豆を作ってみようと思い打豆用の石を探していますがなかなか良い石に出会いません。

編集後記・・・編集委員より一言

内田（発行責任者）

「本年もみなさんのおかげで毎月発行ができました。155号ですよ！すごいですね。ROBANEWSはROBA活動の継続の証・原点といえます」

林（変集長）

「土日は薪ストーブで暖をとっています。」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会（ROBA）

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL：0776-25-7968

e-mail：roba@mbh.nifty.com

URL：<http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>